

令和５年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請（実績報告）関係様式

都道府県名	34_広島県
自治体区分	都道府県

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
343099_坂町	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	小学校の家庭科でのミシンの取扱いや、図工の糸のこぎり・彫刻刃の使用などに際し、担任や教科の教諭での対応が難しい。	・地域の方に依頼し、該当授業の際に見守りを行う。	児童と地域の方との関わりがで き、教員の負担が軽減される。	各小学校での該当授業への地域の方の授業参加件数	4	件	15	9	現状の数値よりも授業参加件数が増加しているが、長期的に継続し、教員の負担軽減だけではなく、児童の専門的な知識等の習得にもつなげていく必要もあると考えられる。	
343099_坂町	②学校と地域の課題	青少年の健全育成	コロナ禍で行事が行えず、文化の継承が困難になっている。	・地域の文化を継承するため、地域の方に学校で授業をしてもらう。	教職員ではわからない地域の行事について、地域の方から伝えることで児童・教職員も文化の継承が行われる。	各学校での該当行事への地域の方の参加件数	7	件	10	18	各学校において、地域行事に関する授業を多く取り入れていたこともあり、地域住民が直接授業を行う機会も増えたと考えられるが、より一層地域のことを知り、興味・関心・愛着を持てるように長期的な継続を図る必要があると考えられる。	

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。